

令和6年度京都大学公共政策大学院

入学試験問題（一般選抜）

科目名：現代政治分析

この表紙の次には、以下の出題分野の試験問題が1ページに各2問ずつ、計3ページで6問ある。

1. 政治学
2. 政治過程論
3. 行政学

6問から2問を選んで解答すること。

1問につき、答案用紙1冊を用いて解答すること。

答案用紙ごとに、所定の欄に科目名、出題分野名、問題番号を記入すること。

科目名 現代政治分析 出題分野名 政治学

問題1 民主主義諸国における政党システムの変化はどのような原因で生じるだろうか。具体例をあげつつ論じなさい。

問題2 小選挙区制は政治的対立の穏健化を導くという仮説の理論的、現実的妥当性について論じなさい。

科目名 現代政治分析 出題分野名 政治過程論

問題 1 財政赤字・黒字の規模に影響を与える政治的要因として何が考えられるか。論じなさい。

問題 2 「日本に社会民主主義は定着しなかった」という見解がある。これについて、あなたはどうか考えるか。根拠を示しつつ、論じなさい。

科目名 現代政治分析 出題分野名 行政学

問題1 資格任用と政治任用とはいかなるものか、また、それぞれのメリットとデメリットはどのようなものかを述べた上で、任意の国を取り上げ、その国の行政機構はどのような任用形態をとっているかを述べなさい。

問題2 東京一極集中に対して、1990年代以降、どのように日本の行政は対応してきたかを述べなさい。